



〒058-0421 えりも町字庶野506番地の3 ☎01466-4-2016

庶野小学校ホームページアドレス(URL) <http://shoya2025.cloudfree.jp>



HP QRコード

リスタートとリフレクション

庶野小学校長 高島 誠之

2学期がスタートして約1ヵ月が過ぎました。明日9月30日で前期が終了します。本校は、子供たちの学校での取組や学習の成果を前期と後期に分けて、評価として「あゆみ(通知表)」を渡し、保護者の方にお伝えしています。子供たちは期待や不安を抱いて、明日の「あゆみ」を受け取るのではないのでしょうか。

さて、前号でもお伝えしましたが「なぜ勉強するのか?」に繋がるかと思いますが、これからの中学校、高校、大学等、子供たちは様々な評価(テストなど)を受けていくことになると思います(だから「受験・受検」という言い方もされるのですが)。よく「テストか〜いやだな〜」「テストが無かったら…」と子供たちはもちろん、大人でもそう感じてしまうものと思います。保護者の皆さんも(もちろん私も)、自分のことを振り返ると良い思い出ばかりではないと思います。

そこで、では、なぜ学校はもちろん、社会に出て、評価(テスト)があるのかということだと思います。

学校では、生活場面でも学習場面でも、自分の「目標」や「めあて」を決めて取り組むことを大切にしています。目標とは、自分ができるようになりたいこと、なりたい自分を想定することです。そんな未来の姿を見据えて、具体的に何をするか、何に意欲をもって、また主体的に取り組むかを自分自身で設定・決めることが大事なことです。

例えば、子供たちの中に「忘れ物をなくす」「算数を頑張る」「字を丁寧に書く」という目標が見られます。しかし、目標とは「忘れ物をなくすために、帰ったらすぐ準備をする」とか、「算数を頑張るために、毎日授業の復習をする」「字を丁寧に書けるようになるために、毎日字(漢字)の練習をする」などのように、具体的な行動にしていけることが重要です。

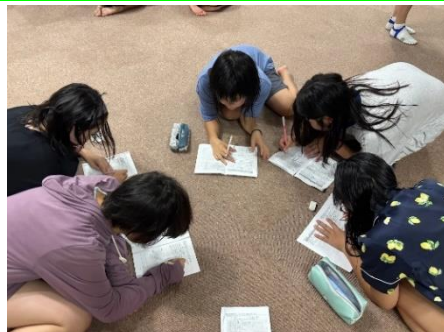
取り組むべきことがはっきりしていれば、振り返りも具体的になり、今後何をすべきかが容易となります。「帰って来たらすぐに準備すると決めていたけれど、できない日もあった」「毎日復習をしていたら、算数が好きになってきた」「字(漢字)の練習を毎日していたら、漢字をたくさん覚えられるようになった」などのように行動を振り返り、新たな気持ちで前を向いて進むことができます。時には、実現のためのやり方を変更し、「忘れ物をなくすために、帰ったらすぐに準備して、朝もう一度確かめる」と、さらに追加・修正することで、なりたいたい自分に近づいていきます。

学校は授業の中でも「振り返り」を大切にしています。私の好きな教材の一つでもある、4年生の国語「ごんぎつね」のラストシーンに兵十のこんな言葉があります。「ごん、おまいだったのか、いつも、くりをくれたのは」私が学級担任だった時、この場面を学習した後、ある児童からこんな「振り返り」がありました。「自分は、兵十はこの言葉を大きな声で言ったと思っていたけれど、友達の発表を聞いて、小さな声で言ったかもしれない。そのほうが、兵十の気持ちに合っていると思った。」学級の友達の考えを知ること、子供たちは自分を振り返り、考えを広めたり深めたりしています。

「反省」はうまくいかなかった原因を探って改善していくことですが、「振り返り」は、うまくいったことも含めて、自分の考えや行動を見つめ直し、そこで得た新たな気づきを次に生かしていくことです。自分の考え方を思い起こし、友達との関わりによって自分がどう変わり、どんな気づきがあったかを明らかにして言葉にすることから、「考える力」は「生きる力」へと成長していきます。

今回お渡しした「あゆみ」を、お子さんと一緒に御覧になり、「振り返り」として御活用いただき、後期への「目標」や「取り組み」へと繋げ、子供たちの成長を見守って欲しいと思います。よろしくお願いします。

町内の5年生と交流を深めた宿泊学習



9月11日(木)12日(金)にえりも町内小学5年生で、宿泊学習を行ないました。一日目は、平取町アイヌ文化博物館見学をして、その後、日高町にある国立日高青少年自然の家に移動し、日高町の史跡や建物を探す「ひだからハンター」や、薪でおこした火でカレーライスを作る「野外炊事」を行いました。二日目は、人間関係を作るゲーム「日高アドベンチャー」を行ないました。最後に、帰りのバスの中で、庶野小学校の子どもたちは、解団式の進行・挨拶を立派に担当しました。

子どもたちは、他校の5年生と関わることを大きな目標に、他校児童との合同班で体験活動に参加しました。子どもたちは、自分自身を振り返りながら、努力を重ね、他校の5年生と今までより仲良くなることができるようになりました。宿泊学習を通して、本校の研究主題である「自己調整力」を高めていました。

楽しく学んだ人間関係作り



9月3日(水)に1・2年生が、スクールカウンセラー2名を招き人間関係づくりについて学びました。二人や三人で遊

ぶ約束をして残る人が遊べなくて寂しい思いをしてしまう場面を取り上げて、相手の気持ちや解決方法について考えました。実際に演技もして楽しみながら、遊びの輪を広げる学習をしました。

助言をいただきました



9月10日(水)26日(金)に、日高教育局より鈴木指導監、小西局長を迎え、全学級を参観し、子どもたちが学習する様子を見ていただきました。子どもたちが表現したり、話し合ったりする活動を多く設けていることを高く評価していただきました。経営について助言をいただきました。

前期の活動を振り返りました



9月22日(月)に前期児童総会を行ないました。前期の活動で良くできた取組やより良くしてほ

しい取組を提案していました。各学級からは、続けてほしい取組を理由も付けながら伝えていました。

最後に、後期児童会役員認証式も行い、新役員が代表としての意気込みを、発表しました。

秋祭りの大切さを学びました



9月25日(木)生活科と総合的な学習の時間の学習として、秋祭りについて学習しました。

雨のため例年参加している神輿は行なわれませんでした。庶野築港で餅まきも行なわれ、参加しました。地域の人と共に船からまかれた紅白餅やお菓子を夢中になって拾いました。地域の人が続けてきた行事の良さを学びました。